

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

---

次の(設例)を読んで、問に答えなさい。

(設例)

1. X警察署警察官Kらは、令和4年5月1日午前10時頃、X市内に住む甲(30歳の男性)から「朝起きたら内妻Vが死んでいた。」旨の110番通報を受け、甲方に臨場したところ、同所でVの絞殺死体を発見した。外部からの侵入の形跡もなく、聞き込み捜査から甲とVとの間で別れ話が出て喧嘩が絶えなかったとの情報が得られたので、Kらは、甲に対しV殺害の嫌疑を抱いた。甲は、KにX警察署での取調べに応じるよう求められ、「分かりました。協力します。」と答えて、同署への任意同行に応じた。
2. Kは、同日午後1時頃から、同署取調室において、甲に黙秘権及び取調室からいつでも退去できる旨を告げて、V殺害事実で甲の取調べを開始し、同取調べは、翌2日午後1時頃までの約24時間行われた。その間、甲は、取調べを拒否したことも帰宅を申し出たこともなかった。Kら取調官は、甲からのトイレの申し出にはいづれも応じ、食事も適宜摂らせ、喫煙・休憩の機会も与え、また甲に対し暴力・脅迫・偽計を用いたこともなかった。もっとも、同月2日午前7時頃には、取調べ事項も尽きてきて、Kら取調官も甲もお互いに沈黙しがちの状態となり、甲が疲労と眠気を覚えたため仮眠を申し出たものの、Kらは約30分の休憩を与えたのみで仮眠は許さず、休憩後取調べを再開していた。

問(配点:50点)

事項2記載の警察官Kらの甲の取調べの適法性について論じなさい。